
神戸港港湾審議会 第35回計画部会

議 事 録

神戸港港湾審議会 第35回計画部会

1. 会議の日時及び場所

- (1) 日 時 令和4年10月12日(水) 午後4時00分開会
- (2) 場 所 神戸市役所1号館28階 神戸市会第4委員会室(web併用)

2. 出席委員の氏名

(1) 学識経験者

赤井伸郎 石黒一彦
大西正光 山縣宣彦

(2) 市会議員

岡村正之 北川道夫

(3) 港湾関係者

中井拓志
浦隆幸

(4) 関係行政機関の職員

渡辺学(代理北出徹也)
宮本順之

以上、出席委員10名(うち2名webでの出席)

欠席委員 0名

3. 議事の経過概要及びその結果

(1) 開会

(2) 委員の出席状況報告

委員総数10名中出席委員10名であり、本会議は有効に成立していることを報告

(3) 委員の紹介

(4) 神戸港中期計画(案)について

事務局から説明

(資料-1 中期計画について(諮問)(写))

(資料-2 神戸港中期計画(案))

[質疑等要旨]

(委員) 神戸のにぎわいに付加価値をつけるには神戸の独自さを生み出していく必要があると考えるが、計画の中で神戸らしさをどう位置付けているのかを教えていただきたい。

(事務局) 物流面では、コンテナをはじめ、在来貨物の強みを活かした取り組みを進めていく。
にぎわい面では、ウォーターフロントエリアへの神戸のブランド価値の高い産業の集約や、自然海岸を有する須磨海岸の活用など、神戸の魅力向上に努めていきたい。

(委員) 神戸空港の国際化とウォーターフロントの海路については、具体的な政策を進めて

いただきたい。

(事務局) 神戸空港ターミナルから海上アクセスへのアクセス強化を含め、ウォーターフロントエリアへの海路についても検討を進めていきたい。

(委員) B C Pの観点からも地震等が発生した際の災害瓦礫を港としてどう対応するのかという視点も必要。

(事務局) 大阪湾全体で連携しながら議論を進めているところであり、引き続き、関係する行政機関等と調整しながら進めていきたい。

(委員) クルーズ誘致は、カジュアル船は対象としないのか。

(事務局) 神戸にとって経済効果の高いプレミアム・ラグジュアリー船の発着クルーズをメインターゲットとして考えているが、全体としてはカジュアル船も含みながらクルーズ誘致を進めていきたい。

以上の審議の結果、満場一致により原案を可決した。

(5) 閉会